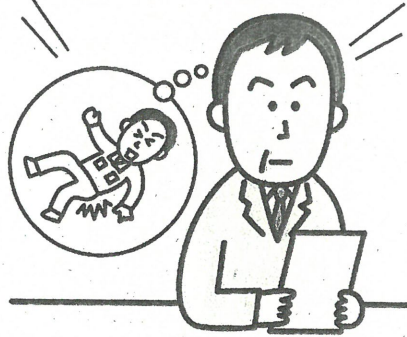


冬の転倒事故対策を
考えなくては……



Q おとし、昨年と雪が多く降り、通勤時や雪かきの際に従業員が雪や凍結で足を滑らせ、転倒しています。

る事故が起きています。この時期の転倒事故を防止するにはどうすればいいでしょうか。

A 2017年に鳥取県内で発生

冬季の転倒事故を防止するには

昨年12月～今年2月、また、雪上でも滑りに積雪・凍結による仕にくいタイプの靴を履事中の転倒災害は44件、く▽小さな歩幅で足の発生しています。その裏全体で着地しゆっく前年は28件、前々年はりと歩く▽時間に余裕18件と、年々増加してをもった行動をする▽いる状況です。

転倒防止対策として、急な動作は避ける▽は、凍結箇所の表示や、除雪作業では、悪天危険マップを作成し従業員に周知する▽危険候時に作業しないこと箇所を除雪や融雪剤のや、側溝や車止め等の散布による凍結防止を場所を確認することも凶る▽建物出入り口に必要です。除雪車を使用雪や水分を拭き取るマッットの設置や水ぬれをう場合は周囲への確認すぐに拭き取る一ことり、除雪車に巻き込まなどが有効です。れないよう留意して歩行の際は横断歩道、ださ。の白線やマンホール等、冬季の前に転倒災害の金属部分、橋上は滑防止について、社内です。話し合うことが重要です。